

平成 27（2015）年度
文京学院大学人間学部
FD 委員会報告書（概要）

人間学部 FD 委員会作成

平成 27 年度 人間学部 FD 委員会 報告書

あいさつ	p. 1
I 今年度の活動目的	p. 1
II 活動経過と内容	p. 3
III 今年度の FD 活動を振り返って	p. 4
IV 委員会議事録（第 1 回～第 7 回）	p. 6
V 委員氏名	p. 18

あいさつ（伊藤英夫 学部長）

FD 委員会を立ち上げ、本来の意味での Faculty Development に取り組んで 3 年が経過しました。先生方には、FD 委員として 1 年間活動することが FD 研修という発想で取り組んでいただきました。その間、18 名の先生方が FD 委員として人間学部の FD 活動を牽引してくださいました。この取り組みは、今後も継続して行っていただくとすると、次の 4 年間で 29 名の先生が FD 委員として活動することになり、人間学部のほぼ全員の先生が FD 委員を経験することになります。FD 委員会も、来年度からは新しい学部長のもとで新たな展開が期待されますが、これまでの FD 委員経験者は、ぜひ FD 委員会サポーターとしてお力添えをいただきたいと考えています。また、これまでの FD 委員としての経験を基に、それぞれの学科独自の FD 活動への取り組みも推進していただければと思います。

I 今年度の活動目的

人間学部の FD 委員会は、今年度で発足 3 年目を迎える。今年度の活動目的を述べる前に、今までの経緯について簡単に説明することにする。

平成 25 (2013) 年 4 月 1 日から「文京学院大学 FD・SD 規程」が施行され、全学 FD 委員会の下部組織として、各学部にも FD 委員会が設置された。人間学部の FD 委員会では、教員相互の授業参観を行うことで、教員の教育方法や授業技術の向上を図り、学部 FD 研修会にて報告することで、学部教員全体の教育技術の向上に寄与することを目的にした。

そこで、FD 委員会の設置 1 年目である平成 25 (2013) 年度は、前期は授業研究を試行しながらその方法を検討し、学部 FD 研修会に報告して学部教員全員で検討し、人間学部独自の授業研究方法を策定した。後期は各学科の FD 委員が授業研究を行い、FD 研修会に成果を公表して、人間学部の教員全員が討議した。

設置 2 年目の平成 26 (2014) 年度は、組織的な FD 活動の活性化を目指して委員を増員し、各学科から約 2 名の教員が代表として選出された。それは前年度の委員定数の約 2 倍にあたる人数である。前期と後期に分かれて、学科別に 1 名の教員が授業研究を行い、全教員の参観が可能となった。さらに、前期 FD 研修会にて「授業研究の報告の時間が短く、内容の把握がしにくい」という感想があったことから、後期の授業研究ではビデオ映像を導入して授業状況を具体的に理解できるようにした。したがって、FD 活動の特徴は、「委員の増員に伴う授業研究回数の増加」、「学部全員の授業参観」、「ビデオ視聴を伴うリアリティある授業研究報告」の 3 点にあった。FD 研修会でのアンケート結果は、「①授業研究の報告について参考になりましたか？」では「はい」が（前期 83%、後期 90%）、「②グループ討議は参考になりましたか？」では「はい」が（前期 94%、後期 86%）だった。「③研修内容について」については「適当」が（前期 68%、後期 82%）で、後期の方が比較的良好な評価を得ており、アンケート結果を基に要望を取り入れながら研修会の方法を変更した効果と考える。ただし、研修会にて「授業報告は参考になるが、授業内容によって違いがあるのでグループ討議には結びつかなかった」という意見が目立った。そこで、今年度は授業研究の報告者が各自テーマを設定してグループ討議を行うように変更し、発表内容とグループ討議が関連するように工夫した。4 人の発表者がいれば、テーマは 4 つとなり、参加教員は関心のあるテーマのグループに分かれて参加することになる。この報告書をもとに、FD 委員会の 1 年間の活動を振り返り、成果を検討することにする。

(金子委員長)

II 活動経過と内容

実施日	FD 委員会 (主な議題)	授業研究	研修会
前期 5/11 (月) 5/13 (水)	第 1 回 FD 委員会活動についての方向性の確認	森下委員	
6/3 (水)	第 2 回 ・ 授業研究と学部 FD 研修会の実施方法 ・ 森下委員の授業研究の検討		
6/4 (木) 6/8 (月) 7/1 (水)	第 3 回 ・ 出村委員・大槻委員の授業研究の検討 ・ New Education Expo 2015 の参加報告 ・ 非常勤講師の FD 活動へ参加について	出村委員 大槻委員	
7/29 (水)			学部前期 FD 研修会
後期 10/7 (水)	第 4 回 ・ 学部前期 FD 研修の反省と評価		
10/14 (水) 10/22 (木) 11/4 (水)	第 5 回 ・ 畑委員・関根委員の授業研究の検討 ・ 学部 FD 研修会の実施方法	畑委員 関根委員	
11/6 (水) 11/18 (水) 12/2 (水)	第 6 回 ・ 横山委員・鳥羽委員の授業研究の検討 ・ 研修会・報告書の詳細決定	横山委員 鳥羽委員	
平成 28 年 2/17 (水) 3/1 (火) 3/2 (水)	第 7 回 ・ 学部後期 FD 研修会の反省と評価 ・ 今年度の活動の反省と評価		学部後期 FD 研修会 全学 FD・SD 研修会

Ⅲ 今年度の FD 活動を振り返って

今年度は、昨年度と同様に、教員相互の授業参観にて教員の教育方法や授業技術の向上を図り、学部 FD 研修会を通して、学部教員全体の教育技術の向上に寄与することを目的にした。昨年度と比較して発展した点は、授業研究の報告者が各自でテーマを設定してグループ討議を行うように変更し、発表内容とグループ討議が関連するように工夫したことである。

前期研修会は次の3名の先生方が発表し、テーマ別にグループ討議を行った。

①森下委員「保育内容総論（保育所・幼稚園における子育て支援）」

テーマ1：大人数の講義での視覚教材の有効な使い方（スライド、板書など）

②出村委員「高齢者の理解」

テーマ2：講義科目における演習の取り入れ方

③大槻委員「保育内容総論（子どもの健康：感染症と予防接種）」

テーマ3：学生の学力向上とノートテイク

アンケート結果では、「①授業研究の報告について参考になりましたか？」では「はい」が96%、「②グループ討議は参考になりましたか？」では「はい」が89%で、「③研修内容について」は「適当」が85%で、研修会の効果がかなり認められたことから、後期も各発表者がテーマを設定するこの様式を継続することにした。

後期研修会は次の4名の先生方が発表し、テーマ別にグループ討議を行った。

①畑委員「環境心理学」

テーマ1：学生に自分で考えさせるための仕掛け

②関根委員「比較文化論」

テーマ2：授業における動画教材の活用と問題点

③横山委員「カウンセリング論」

テーマ3：講義科目の中のワークと「合理的配慮」に関して

④鳥羽委員「高齢者に対する支援と介護保険制度」

テーマ4：学生参加型の授業と理解を深めるための工夫について

アンケート結果では、「①授業研究の報告について参考になりましたか？」では「はい」が96%、「②グループ討議は参考になりましたか？」では「はい」が100%で、ほぼ全員が有効性を認めており、かなり良い結果と考える。ただし「③研修内容について」は「適当」が78%で、前期の85%よりもわずかではあるが低下していた。理由としては時間延長が挙げられていた。前期が3名の発表だったのに対して、後期は4名の発表だったこともあり10分間延長となった。それが原因と考えられる。特筆することとして、グループ討議で発達障害の学生に対する

「合理的配慮」の観点から論議が進展した。今後は研修テーマとして検討することも必要と考えられる。なお、外国語学部の甲斐田万智子教授が、人間学部 FD 研修会に参加を希望して下さった。残念なことに、当日、公務のためやむを得ず研修会にご出席できず、資料のみを差し上げることとなった。他学部の先生方が関心を寄せてくださり、大変感謝している。

(金子委員長)

IV 委員会議事録（第1回～第7回）

第1回 FD 委員会

日時 : 平成27年5月13日(水) 16時10分～17時40分

場所 : 西館3階 講師控室

出席者 : 伊藤英夫, 金子智栄子, 関根謙司, 横山剛, 鳥羽美香, 大槻恵子,
森下葉子, 畑倫子, 出村早苗

欠席者 : なし

議題

1. 今年度の FD 委員会と学部 FD 研修会について

- 1) FD 委員会 基本は毎月第一水曜日の16時～17時半とする。

前期 : 5/13, 6/3, 7/1

後期 : 10/7, 11/4, 12/2, 2/(開催日未定)

- 2) 学部 FD 研修会 前期 : 7/29(水) 16時～(大学院中間報告会後)

後期 : 2/27(水) 16時15分～17時45分

(他, 委員会との兼ね合いにより)

2. 授業研究について

- 1) 実施日について

	前期	後期
森下委員	保育内容総論(月1限 5/11)	
大槻委員	保育内容総論(月1限 6/8)	
出村委員	高齢者の理解(木2限 6/4)	
横山委員		カウンセリング論(金1限 11/6)
鳥羽委員		高齢者に対する支援と介護保険制度 (水3限 10月又は11月)
畑委員		環境心理学(水2限 10月又は11月)
関根委員		比較文化論(木3限 10月又は11月)

※日程が未定の授業については, 来月の会議にて決定する。

- 2) 実施方法について

(1) 準備資料 : 昨年度使用した指導案・評価表を今年度も使用する。

(2) ビデオ録画について : 助手・副手に依頼し, 教授者が事前に打ち合わせを行う。

児童発達学科：片野副手，心理学科：中尾副手，人間福祉学科：表副手，コミュニケーション社会学科：(心理学科の受講生が多い授業である為) 中尾副手に依頼をしていく予定。コミュニケーション社会学科は金子先生から依頼をしていただく。それ以外の学科は研究授業担当教員から直接依頼をする。

(3) 学部の教員は全員参加可能とする。

3. 学部 FD 研修会について

授業報告の際にビデオ視聴を取り入れ，報告を中心に進行する。

前期報告者：森下委員，出村委員，大槻委員

後期報告者：横山委員，鳥羽委員，畑委員，関根委員

4. 5月の授業研究の検討

森下委員 5月11日 テーマ『幼稚園・保育所における子育て支援』
「保育内容総論」月曜日1限(W201)

当日の授業についての報告が森下委員よりなされた。

5. 「祝！20回記念 New Education Expo 2015」

6月4日(木)～6日(土)開催され，伊藤学部長が4日(木)に出席予定であることを確認した。

次回のFD委員会：6月3日(水)16時～ 西館講師控室にて開催予定

以上

第2回 FD 委員会

日時 : 平成 27 年 6 月 3 日 (水) 16 時 00 分～17 時 20 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 関根謙司, 金子智栄子, 横山剛, 鳥羽美香, 大槻恵子,
出村早苗, 森下葉子, 畑倫子

欠席者 : 伊藤英夫

議題

1. 授業研究について

➤ 下記の通り決定した。

	前期		後期	
森下委員	保育内容総論	月 1 限 5/11		
出村委員	高齢者の理解	木 2 限 6/4		
大槻委員	保育内容総論	月 1 限 6/8		
畑委員			環境心理学	水 2 限 10/14
関根委員			比較文化論	木 3 限 10/22
横山委員			カウンセリング論	金 1 限 11/6
鳥羽委員			高齢者に対する支援と介護保険制度	水 3 限 11/18

2. 学部 FD 研修会について

1) 日程

前期 : 7/29(水) 16 時～(大学院中間報告会后)

後期 : 2/17(水) 16 時 15 分～17 時 45 分

➤ 報告書作成のための会議を 3/2(水)に開催する予定

2) 前期報告者

(1) 森下委員 「保育内容総論」 (月 1 限 5/11)

(2) 出村委員 「高齢者の理解」 (木 2 限 6/4)

(3) 大槻委員 「保育内容総論」 (月 1 限 6/8)

3) プログラム(平成 27 年度前期 7/29 開催分)

➤ 前期の学部 FD 研修会のプログラム案を検討し, 下記の通り決定した。

➤ グループ討議に関しては, 3 グループの分科会とし, 発表者が他の教員と共有したい課題を提供する (7 月の教授会でお知らせする)

➤ グループは学科を超えたものとする

司会 (鳥羽委員・横山委員)

(1) はじめに (FD 委員長) 16:00～

(2) 授業研究の発表 (30 分) 1 発表 10 分 (発表 8 分, 質疑応答 2 分)

- | | | |
|-------|----------|-----------|
| ①森下委員 | 「保育内容総論」 | (講義；130名) |
| ②出村委員 | 「高齢者の理解」 | (講義；65名) |
| ③大槻委員 | 「保育内容総論」 | (講義；130名) |
- (3) グループ討議 (30分) 16:40頃～
- テーマ①「*****」
- テーマ②「*****」
- テーマ③「*****」
- (4) グループ討議報告 (10分) 17:10頃～
- (5) まとめ 17:20頃～
- (6) おわりに (松村和子副学長)
- (7) アンケート記入

3. 非常勤講師の研究授業への参観について

- 大学での教授経験は少ない専門家の先生で、授業の仕方を参考にするため、他の教員の授業を参観したいとの申し出があった
- 今回の案件については、急を要するものでもあり、個別対応をした上で、教務委員会にも報告する
- 他の非常勤の先生で同様の訴えがないか、6月の学科会議で各委員が議題とし、7月のFD委員会で報告する
- 非常勤・専任懇談会や、授業参観など、教務委員と重なる部分が多いため、教務委員とも連携する

4. 5月の授業研究の検討の続き

森下委員 5月11日 テーマ『幼稚園・保育所における子育て支援』
「保育内容総論」月曜日1限(W201)

- 評価表を学生用と教員用に分けることにし、学生用の用紙を作成した(別紙参照)

次回のFD委員会：7月1日(水)16時～ 西館講師控室にて開催予定

以上

第3回 FD 委員会

日時 : 平成 27 年 7 月 1 日 (水) 16 時 00 分～17 時 55 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 伊藤英夫(別会議と重なり 16 時半まで), 金子智栄子, 関根謙司,
横山剛, 鳥羽美香, 大槻恵子, 森下葉子, 畑倫子, 出村早苗

欠席者 : なし

議題

1. 「祝！20 回記念 New Education Expo 2015」

6 月 4 日 (木) ～6 日 (土) にて開催される。出席した伊藤学部長からの報告があった。

2. 非常勤講師の授業への参観について

先月報告のあった非常勤の先生については、その後、金子委員長の授業への参観をしている状況である。他の学科の非常勤講師からは特に授業に対する悩みや不安はあがっていない。今回確認できなかった学科については、7 月の学科会議にて確認を行う。

3. 前期学部 FD 研修会について

1) 日時 7/29(水) 16 時から開催とする。

2) プログラム

司会 (鳥羽委員・横山委員)

(1) はじめに (FD 委員長) 16:00～

(2) 授業研究の発表 (30 分) 1 発表 10 分 (発表 8 分, 質疑応答 2 分)

8 分の発表中, ビデオ映像は 1～2 分程とする。

①森下委員 「保育内容総論」 (講義; 130 名)

②出村委員 「高齢者の理解」 (講義; 65 名)

③大槻委員 「保育内容総論」 (講義; 130 名)

(3) グループ討議 (30 分) 16:40 頃～

テーマ①「大人数の講義での視覚教材の有効な使い方 (スライド, 板書など)」

テーマ②「講義科目における演習の取り入れ方」

テーマ③「学生の学力向上とノートテイク」

グループ討議については、学科ごとではなく、自分の希望するテーマで学科を超えた討議を行う。あらかじめ 7 月の教授会にて全教員にテーマの連絡を行い、参加したいグループについて考える時間をつくる。研修会当日は 3 つのテーマに分かれて席についてもらうが、人

数の偏りがある場合は当日調整とする。発表終了後、グループ討議までの間の移動も可とする。授業研究発表者はテーマ提供者として、そのグループに参加して進行を行う。

- (4) グループ討議報告 (10分) 17:10 頃～
- (5) まとめ 17:20 頃～
- (6) おわりに (松村和子副学長)
- (7) アンケート記入

アンケート用紙は昨年度同様とする。

4. 6月の授業研究の検討

授業研究についての報告があり、その検討が行われた。

- (1) 出村委員 高齢者の理解(木 2 限 6/4)
- (2) 大槻委員 保育内容総論(月 1 限 6/8)

次回の FD 委員会 : 10 月 7 日 (水) 16 時～ 西館講師控室にて開催予定

以上

第4回 FD 委員会

日時 : 平成 27 年 10 月 7 日 (水) 16 時 00 分～16 時 30 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 伊藤英夫, 金子智栄子, 関根謙司, 横山剛, 鳥羽美香, 大槻恵子,
出村早苗, 畑倫子, 森下葉子

欠席者 : なし

議題

1. 前期学部 FD 研修会の反省

- ・ 参加者へのアンケート結果, 報告者の感想をもとに, 前期の FD 研修会を振り返った。
- ・ 研究授業の報告が時間超過したことについて, 「映像を流すのであれば, もう少し時間が必要」「授業の全体像を話す必要があり, そうすると時間内に収めるのは難しい」といった意見が報告者からあがった。また, 研究授業の報告の時間を延ばす場合, 後半のグループディスカッションの時間をとれなくなるのでは, との意見もあがった。
- ・ FD 研修会の構成について, 今後も継続して審議することとなった。

2. 10 月, 11 月の授業研究の実施日

- ・ 実施日および教室について確認した。
 - 畑委員 環境心理学 10/14 水 2 限(C303 教室)
 - 関根委員 比較文化論 10/22 木 3 限(W201 教室)
 - 横山委員 カウンセリング論 11/ 6 金 1 限(E208 教室)
 - 鳥羽委員 高齢者に対する支援と介護保険制度 11/18 水 3 限(W303 教室)
- ・ 10 月の研究授業の様子は, 11 月の FD 委員会で報告されることとなった。
- ・ 参観者への配布資料は, ①シラバス, ②指導案, ③アンケート, ④授業資料, であることが確認された。
- ・ 授業の様子はビデオカメラで撮影することが確認された。
- ・ 後期研究授業の日時, 場所の人間学部教員への通知はメールにて行うこととなった。

3. 後期 学部 FD 研修会について

- ・ 実施日時 2/17(水) 16 時 15 分～17 時 45 分
- ・ 報告書作成のための FD 会議を 3/2(水)に開催する予定であることが確認された。

4. その他

次回の FD 委員会 : 11 月 4 日 (水) 16 時 00 分～ 西館講師控室

以上

第5回 FD 委員会

日時 : 平成 27 年 11 月 4 日 (水) 16 時 00 分～17 時 15 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 伊藤英夫, 金子智栄子, 関根謙司, 横山剛, 大槻恵子, 森下葉子, 畑倫子

欠席者 : 鳥羽美香, 出村早苗

議題

1. 後期学部 FD 研修会 (継続検討)

- ・ 研究授業の報告の時間延長 (10 分→15 分) について
- ・ 後半のグループディスカッションについて
 - 全員が研究授業を終えた後の来月の FD 委員会にて検討することとなった。

2. 10 月の授業研究の検討

- 「環境心理学」と「比較文化論」の研究授業について、主に授業運営の工夫点について各教員が発表し、改善点などについて話し合った。
- ・ 環境心理学 (畑委員) 10/14 水 2 限(C303 教室)
 - ・ 参観教員: 金子委員長
 - ・ 69 名の学生が授業評価票を提出し、評価は概ね良かった。
 - ・ 学生がただ聞く・メモを取るだけでなく、「自分で考える」ように、課題を授業の途中で行ってもらっている。
 - ・ 出席することではなく、課題を提出すること、写真を撮ってくること、小レポートを書くことで評価をしている。
 - ・ 事例が多すぎるのではないかと、写真が多すぎるのではないかと意見があった。
- ・ 比較文化論 (関根委員) 10/22 木 3 限(W201 教室)
 - ・ 参観教員: 金子委員長, 大槻委員, 出村委員, 畑委員
 - ・ 学生の知的好奇心を刺激できるよう、多くの文献を紹介している。
 - ・ カラーで見ることができるよう、資料はウェブ上で公開している。
 - ・ コメントシートには珍しい印を押し、当日に出席しないと書けないようにしている。
 - ・ 参考文献は図書館に置いた方が良くはないかとの意見があった。
 - ・ 学生の授業態度について協議がなされた。

3. 11 月の授業研究の実施日

- ・ 横山委員 カウンセリング論 11/ 6 金 1 限(E208 教室)
- ・ 鳥羽委員 高齢者に対する支援と介護保険制度 11/18 水 3 限(W303 教室)
- ・ 参観者への配布資料は、①シラバス、②指導案、③アンケート、④授業資料
- ・ 授業の様子はビデオカメラで撮影

- 11月の授業研究の日程についてと、授業研究ではビデオを撮ることの確認が再度行われた。

3. その他

次回のFD委員会：12月2日（水）16時00分～ 西館講師控室

- 次回のFD委員会の日程の確認が行われた。

以上

第6回 FD 委員会

日時 : 平成 27 年 12 月 2 日 (水) 16 時 00 分～17 時 20 分

場所 : 西館 3 階 講師控室

出席者 : 伊藤英夫, 金子智栄子, 関根謙司, 横山剛, 鳥羽美香, 森下葉子
畑倫子, 出村早苗

欠席者 : 大槻恵子

議題

1. FD 報告書について (別紙参照)

- ・今年度の報告書の構成について、別紙のとおり決まった。
- ・別紙「Ⅲの1 授業研究」については、各授業を担当した教員が担当する。
- ・別紙「Ⅳの2 FD 委員の感想【各委員】」については、容量は5～6行程度とする。
- ・別紙「2 研修会参加」については、伊藤学部長・金子委員長が担当する。
- ・原稿締切は来年1月24(日)として金子委員長宛てに提出をする。金子委員長が原稿を確認した後、森下委員、畑委員、出村委員の3名が原稿を再度確認する。
- ・2月17日のFD報告会とアンケート結果も報告書に掲載し、3月上旬には完成予定。

2. 11月の授業研究の検討

- ・2名の教員から授業研究日の報告があった。授業にて配布した資料等を基に当日の授業内容、アンケート結果報告、授業の工夫点と改善点などについて話し合った。
- ・横山委員 カウンセリング論 11/6 金1限(E208 教室)
- ・鳥羽委員 高齢者に対する支援と介護保険制度 11/18 水3限(W303 教室)

3. 後期学部 FD 研修会について

- ・研究授業の報告の時間は、テーマを決め、テーマに沿った報告を10分で行う。
- ・報告教員は1月中にテーマを決め、金子委員長まで連絡する。テーマ決定後、FD研修会前に全教員に各テーマについて周知する。
- ・後半のグループディスカッションは30分とする。

前期	後期
<p>1) 日時 7/29(水) 16時～17時 30分</p> <p>2) プログラム 司会 (鳥羽委員・横山委員)</p> <p>(1) はじめに (FD 委員長) 16:00～</p> <p>(2) 授業研究の発表 (30分) 1 発表 10分 (発表 8分, 質疑応答 2分)</p> <p>①森下委員 「保育内容総論」 ②出村委員 「高齢者の理解」 ③大槻委員 「保育内容総論」</p> <p>(3) グループ討議 (30分) 16:40頃～ テーマ①「大人数の講義での視覚教材の有効な使い方 (スライド, 板書など)」 テーマ②「講義科目における演習の取り入れ方」 テーマ③「学生の学力向上とノートテイク」</p> <p>グループ討議については, 学科ごとではなく, 自分の希望するテーマで討議を行う。あらかじめ7月の教授会にて全教員にテーマの連絡を行い, 参加したいグループについて考える時間をつくる。研修会当日は3つのテーマに分かれて席についてもらうが, 人数の偏りがある場合は当日調整とする。発表終了後, グループ討議までの間の移動も可とする。授業研究発表者はテーマ提供者として, そのグループに参加して進行を行う。</p> <p>(4) グループ討議報告 (10分) 17:10頃～</p> <p>(5) まとめ 17:20頃～ (6) おわりに (松村和子副学長) (7) アンケート記入</p>	<p>1) 日時 2/17(水) 16時 15分～17時 45分</p> <p>2) プログラム 司会 (森下委員・出村委員)</p> <p>(1) はじめに (FD 委員長) 16:15～</p> <p>(2) 授業研究の発表 (40分) 16:20頃～ 1 発表 10分 (発表 8分, 質疑応答 2分)</p> <p>①畑委員 「環境心理学」 ②関根委員 「比較文化論」 ③横山委員 「カウンセリング論」 ④鳥羽委員 「高齢者に対する支援と介護保険制度」</p> <p>(3) グループ討議 (30分) 17:00頃～ ・テーマを決め, テーマに沿った発表とする。 ・テーマは1月中に各教員が決めて, 金子委員まで連絡する。 ・グループ討議については, FD 研修会前にメールにて全教員に連絡を行う。 ・研修会当日は4つのテーマに分かれて席につく。 ・前期同様に発表終了後, グループ討議までの間の移動も可とする。</p> <p>(4) グループ討議報告 (2～3分×4グループ) 17:30頃～</p> <p>(5)まとめ 17:40頃～ (6) おわりに (伊藤学部長) (7) アンケート記入 (用紙は昨年度同様)</p>

4. 研修参加報告

- ・「大学・高校実践ソリューションセミナー 2015 東京」11月19日(木)
「大学生, 常識の壁をぶち壊せ! -新しいキャンパス創り 2016- (15:00-16:00)」
「グローバル化する社会で求められる英語力とは-キーワードは4技能-(16:30-17:30)」に金子委員長が参加し, その報告がなされた。

次回の FD 委員会 : 3月2日(水) 13時00分～ 西館講師控室

(反省会 : FD 研修会, 今年度の FD 活動について)

(打ち上げ : 3月2日(水)の教授会後に予定)

以上

第7回 FD 委員会

日時 : 平成 28 年 3 月 2 日 (水) 12 時 30 分～14 時 00 分

場所 : W311

出席者 : 伊藤英夫, 金子智栄子, 鳥羽美香, 横山剛, 畑倫子, 出村早苗, 森下葉子

欠席者 : 大槻恵子, 関根謙司

議題

1. 後期学部 FD 研修会の反省および次年度に向けて

1) 方法・進行について

2 月 17 日 (水) に開催した人間学部後期 FD 研修会の反省として、時間を超過した点があげられた。

テーマごとのグループディスカッションが好評だった点と上記の反省点を受け、テーマごとの分科会形式が提案された。分科会形式にすると、時間的に余裕ができ、発表時間を 15～20 分とることができるという利点もあげられた。学部の FD 研修会の方法・進行については次年度の委員で継続して検討することとなった。

2) FD 研修会のテーマについて

アンケートでは、発達障がい等の困難を抱え、配慮を要する学生への理解と対応をテーマにした研修内容が要望としてあがったことについて、本課題は教員・職員が認識を共通しておく必要があるため全学 FD・SD 研修会でのテーマに学部として提案することとなった。

また、全学 FD・SD 研修会のテーマを学部の研修会につなげてもよいのではないかという意見があがった。例えば、本年度の全学 FD・SD 研修会のテーマであった「ルーブリック」をもとに、初年次教育について学部のコモン・ルーブリックの作成を試みて、翌年に実際の授業で用いる等、具体的な案が出された。

次年度の学部 FD のテーマにルーブリックを加えることについては、次年度の委員で継続して検討していくこととなった。

2. 今年度報告書について

今年度報告書の作成進捗状況についての報告が行われ、3/7 に入稿予定であることが確認された。

文言の表記等細かい点についても最終確認が行われた。

3. 今年度 FD の反省

授業研究の時間帯が合わず他委員の授業見学が難しかったことという反省から、次年度は、委員間で見学可能な日程を優先して授業研究の日を決定してはどうかという意見があがった。一方で、委員自身が課題や難しさを感じている授業を対象にすることに意味があるのではという意見もあがった。

以上

V 委員氏名

コミュニケーション社会学科 : 関根謙司

児童発達学科 : 伊藤英夫 (学部長), 金子智栄子 (委員長), 大槻恵子, 森下葉子

人間福祉学科 : 鳥羽美香, 出村早苗

心理学科 : 横山剛, 畑倫子